

歴史と芸術あふれるウクライナより、若さと気品に満ちたバレエ団が来日!

キーウ・クラシック・バレエ

白と黒、善と悪。
対極の美が織りなす、
究極の芸術——

パリ、ロンドン、ローマを魅了した、
ワガノワメソッド光る確かな舞踏!

白鳥の湖

— 全2幕 —

作曲:P.チャイコフスキー 原振:M.プティパ、L.イワノフ

4歳以上
入場可

2025年

10月26日(日) 15:00開演 (14:00開場) 新潟県民会館 大ホール

新潟市中央区
一番堀通町 3-13

全席指定
(税込) 7,500円

※3歳以下入場不可・4歳以上有料(膝上鑑賞不可)
※演奏は特別録音音源を使用します
※公演時間は約2時間(休憩有)となります

●主催/キーウ・クラシック・バレエ新潟実行委員会(新潟日報社、NST新潟総合テレビ)
●後援/新潟県、新潟市、新潟県教育委員会、新潟市教育委員会、新潟県洋舞踊協会、新潟市洋舞踊協会

お問合せ 新潟日報社ふれあい事業部 ☎025-385-7470 (10:00-17:00/土日祝を除く)
NSTイベントインフォメーション ☎025-249-8878 (10:00-18:00/土日祝を除く)

<チケットプレイガイド>

- インフォメーションセンターえん(新潟日報メディアシップ1階)
- 新潟県民会館 ※窓口販売のみ
- セブンチケット <https://7ticket.jp/>
- ローソンチケット <https://l-tike.com/>
- ※NIC新潟日報販売店でもお取り寄せできます

日本全国120公演以上にわたる公演ツアーを敢行した2017年から毎年、その親しみやすいパフォーマンスで好評をいただいているキーウ・クラシック・バレエ。パリ、ロンドン、ローマをはじめ、世界各国を魅了してきたウクライナ発のクラシック・バレエが、今年も感動を届けにやってきます!

世界中から愛され続ける『白鳥の湖』は、1877年の初演当初の不人気を覆し、今や稀代の名作として誉れ高いクラシック・バレエ。全編を通して“対”となるテーマが散りばめられています。白鳥のオデットと黒鳥のオディール、暗く物憂げな湖畔に、きらびやかな城の大広間。そして、善と悪。相反するものの美を描いた繊細かつ華やかな、まさにバレエ芸術の代名詞とも言える作品です。バレエを知らずとも、どこかで見慣れた、聴き親しんだ本作。一人の主演ダンサーによる、オデットとオディールの演じ分けも見どころ。アーティストたちの作りだす、一瞬に込められたその時だけの芸術を、ぜひ劇場で!

白鳥の湖 全2幕

【あらすじ】

第1幕

成人を迎えたお祝いに、森へ狩りにやってきたジークフリート王子とその一行。立派な大人となったジークフリートは、次に宮殿で開かれる舞踏会で花嫁を選ぶように言われているが、どうしても気が乗らない。気が沈んだジークフリートは、一行の賑やかな雰囲気を出し、一人森の奥へと入っていく。

静まりかえった水面に月の明かりが映える湖のほとり。そこでジークフリートは、とても美しいオデット姫に出会う。オデットは悪魔ロッドバルトの魔法で白鳥に変えられ、夜の間だけ本当の姿に戻ることが出来る。オデットの魔法を解くことが出来るのは、まだ愛を誓ったことのない青年の真実の愛。ジークフリートはオデットに愛を誓うと約束する。

第2幕

宮殿では舞踏会が開かれ、花嫁候補が踊りを披露している。しかし、オデットを忘れられないジークフリートは、どの花嫁候補の踊りにも心が動かない。すると突然、新しい客の到着を告げるファンファーレが鳴り響く。ジークフリートの前に現れたのは、悪魔ロッドバルトと、その娘オディール。オデットと同じ姿のオディールを見て喜んだジークフリートは、間違えて愛を誓ってしまう。ロッドバルトとオディールの高笑いに過ちに気づき、オデットを求めて森に入っていく...

湖のほとりでは、裏切りを知ったオデットと白鳥たちが嘆き悲しんでいる。そこへ、全てを知ったジークフリートが現れ、ロッドバルトと対峙する。真実の愛の元に許しを得たジークフリートは、オデットと力を合わせて悪魔に立ち向かい、ついにその力の前に悪は滅び去る。

キーウ・クラシック・バレエ

Kyiv Classic Ballet

1982年設立のキーウ市立アカデミー・オペラ・バレエ青少年劇場を母体とするバレエ団。元は劇場の海外公演時のバレエ団として組織されていたが、評判を呼び団体として独立。劇場の総裁・副総裁を務めたオクサーナ・ソロヴィヨワが団長として率い、ウクライナ共和国人民芸術家であり、ウクライナ国立歌劇場バレエにおいてプリンシパルとして長年活躍したテチヤナ・ヴォロヴィークが芸術監督を務めている。劇場の理念に則り、上演作品はどれも幅広い年齢層の観客が楽しめる構成を基本とし、特にバレエを初めて経験する子どもたちに楽しめるよう工夫を凝らした公演を提供している。

また国内外の様々な劇場からゲスト・ダンサーを迎え、所属団体の垣根を越えて素晴らしいアーティストが集っている。これまでに、ドイツ、イタリア、スペイン、フランス、ポルトガル、イギリス、スイス、スロベニア、ユーゴスラビア、オランダ、日本、韓国、カナダ、南アメリカなどで公演を行っており、世界中にバレエ芸術の素晴らしさを伝え続けている。



プリンシパル

長澤美絵 Mie Nagasawa

ワガノワ・バレエ・アカデミー卒業。2005年にドネツク国立アカデミック・オペラ・バレエ劇場に入団し、2010年にキーウ市立アカデミー・オペラ・バレエ青少年劇場に移籍。同劇場とキーウ・クラシック・バレエを率いるプリンシパルとして長年活躍している。



アンナ・レズニチェンコ Anna Reznichenko

キーウ国立振付学校卒業。2021年にキーウ市立アカデミー・オペラ・バレエ青少年劇場に入団し、キーウ・クラシック・バレエの海外ツアー公演に参加している。モルドバ国立キシニョフ・オペラ・バレエ劇場にもゲスト・ソリストとして在籍中。



※出演者は都合により変更となる場合がございます

ご注意とお願い 予め下記の事項をご了承くださいますようお願い致します

- ※3歳以下のお子様のご入場はご遠慮ください。※演奏は特別録音音源を使用いたします。
- ※開演後のご入場は制限させていただきます場合がございます。
- ※上演中の写真撮影、録音、録画はご遠慮ください。
- ※本チラシ記載の出演者はやむを得ない事情により変更となる場合がございます。
- ※ご購入後のチケットのキャンセルや変更、紛失による再発行はできません。
- ※営利目的の転売行為は法令により禁止されております。

FOLLOW US!



他会場・他演目公演も

キーウ・クラシック・バレエのその他の演目・公演会場はこちらから ▶▶

